

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第3回中央地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和4年9月15日(木) 18時00分～19時40分		
開催場所	中央公民館大会議室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
議 題	1 開 会 2 議 題 (1) まちづくりを考える懇談会について (2) 中央地区の課題に対する取り組みについて 3 その他 (1) まちづくり会議会則の一部改正について (2) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会における中央地区まちづくり会議からの推薦について (3) 11月のまちづくり会議の日程変更について 4 閉 会		

## 議 事 の 要 旨

主な内容は次の通り。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### 1 開 会

鈴木会長より、あいさつをした。

### 2 議 題

#### (1) まちづくりを考える懇談会について

鳥海副会長から、今年度のまちづくりを考える懇談会のテーマの数は、時間等の都合から「地域防災」のみに絞る提案がされ、意見なしで了承された。次に、「地域防災」に関して、事前に意見書を提出した委員から、一人ずつ意見内容について説明があった後に、2チームに分かれてグループワークを行い「地域防災」に関する課題や疑問を深掘して発表した。

#### 【意見書に関する提出者の発言】

- 中央地区防災計画はよく出来ているが、これを地域住民が読んで理解することは難しい。これより、市はこの制度について、どのように住民に対して分かりやすく周知・徹底するのかを知りたい。
- 中央地区防災計画のことを地域住民はほとんど知らないと思う。また、各自主防災隊や関係機関がこの計画を理解し、実行できるような体制になっていないのではないかと疑問に思う。これより、私としては市が先頭に立って、この地区防災計画を周知・徹底し、体制づくりを行っていくべきと考えるが、市の見解を伺いたい。
- 避難所運営協議会の委員を担っているが、いつも仮設トイレ、特に障害者用トイレの組み立てに時間を要してしまい、実際の災害時にも組み立てが大変になると予想する。しかし、先日、避難所倉庫を確認したら新しいトイレが配備されていたので、それに関しては今後の協議会で試していこうと考えるが、全体として、古い資機材が多くあり、現在はより簡易で便利な資機材も多くあることから、抜本的な資機材の見直しをした方がよいと考える。市の見解を伺いたい。
- 防災に限らずだが、現在、市の地域住民に対する情報の伝達手段は広報などが主だが、今後も同様の方法を継続していくだけでよいのか、効果に疑問がある。また、現在、担当する避難所運営協議会内では、避難所運営自体は自治会員・非自治会員関係なく行うため、委員からは協議会自体に非自治会員を委員に入れたり、協議会の内容を積極的に非自治会員にも周知を行うべきという意見が出ている。この点に関して、市の見解を伺いたい。
- 一点目は上記意見とほぼ同様だが、組織基盤（自主防災組織等）がない地域に対

しては、どのように協力要請や情報周知を図っていくのか。二点目は、私の地域にもマンションが多くあるが、個々のマンションと地域住民との連携・協力体制が構築されていない。地区防災計画でも共同住宅と地域住民の連携強化を掲げており、地域住民としても連携は必要と考えるが、その間のパイプ役や実行する旗振り役が存在しないのが現状である。この点について、市はどのようにこの課題を解消するのか見解を伺いたい。

○介護保険事業所によっては、法律により「地域住民と連携して防災活動を行う」旨が規定されている事業所もあるが、事業所側も地域住民側も連携の窓口が分からない状況なため、市が主導して連携を図る必要があると思うが、見解を伺いたい。

○最近では、介護関係者の中では、災害が発生した際に介護事業者が機能しなくなった場合に要援護者支援も困難になることが予想されるため、各事業所がBCPつまり業務継続計画の策定に取り組んでいる。3.11の際には、全く安否確認をしなかった人もいれば、地域包括・ケアマネ・ヘルパー・民生委員など、多くの関係者が一人に対して安否確認を行い怒られたケースもあった。こうしたことに対して、事前に関係者間で個人情報の共有が出来ていれば、最小限の労力で安否確認が可能だと考えるが、市の見解を伺いたい。また、避難所で、介護用品などを含めて高齢者のサポートはどこまで可能なのか、そして、避難所まで行けない高齢者に対しては、どのような対応となるのか確認したい。

○一つ目は、災害時要援護者支援として、「相模原市災害時要援護者避難支援ガイドライン」について避難支援の仕組みなどの情報提供は「誰に対して、どのように」実施されているのか、避難支援の現状と問題点、市避難行動要支援者名簿の作成状況の3点について伺いたい。二つ目は、避難所運営として、避難所運営協議会の活動状況について、新型コロナウイルス感染症対策として見直された点について伺いたい。三つ目は、地域ができる啓発活動として、市外の施設見学を実施したいが、その際に市の公用車（マイクロバス）の運行をしてもらえないか伺いたい。

○実際に災害が起きた際に、誰がどうやって近隣住民に声掛けをして集約及び報告をするのか、改めて市の見解を伺いたい。

#### 【グループワークでの各チームの発表】

(まちづくりチーム)

○当チームでは総じて「災害時要援護者支援」に関する意見や課題が多く出た。特に、要援護者の個人情報に関しては、各団体間で有している情報があっても個人情報保護の壁があり共有できていない。また、例えば、民生委員で要援護者名簿を作成するといった時に、「どういった人を要援護者とするか」について各団体ご

とに定義や考え方が異なるのも一つの課題である。市の考えでは、有事の際には個人情報共有も可能というが、そうではなく、有事の際にスムーズに対応するためには平時からの情報共有が必要と考える。次に避難所に関して、資機材が古く使いにくいという意見が出た。また、マニュアルには記載されていない点として、福祉避難所までは行かないまでも、介護を要する人に関しては避難所においてどこまで対応してもらえるのか。もう少し具体的にいえば、避難所では要介護者を市の職員が対応するのか、それとも近隣や避難者で対応するのか知りたい。最終的には避難所運営協議会任せとなるかもしれないが、地域がやるにしても市としてはどこまでバックアップしてくれるのかなど市の一般的な見解を確認したいという意見があった。

(公園プロジェクトチーム)

- 当チームとして、一番多くの課題関心や意見があったのは、「情報共有・連携」だった。これに先んじて「地区防災計画」について報告すると、まず主体が地域・個人レベルとしては、自宅でできる防災対策を実施すべきという意見があった。他方、市レベルというと、地区防災計画の具体的運用、もしくは、もう少し誰にでも分かりやすい地区ごとの防災ガイドの作成をしたらどうかという意見があった。続いて「避難所」についてだが、そもそも避難所に行ったこともないため分からないという意見があったが、それは個人や地域単位で取り組み、避難所の周知などを行った方が効果的である。また、避難者が殺到した際に、現在、避難所にある備蓄品や資機材で対応可能なのか、さらにプライバシーの問題はどこまで配慮できるのかなど、一般的な市の見解を確認したい。次に「災害時要援護者支援」だが、地域で出来ることとして、地域の事業者や企業と災害時の協定や連携を行い、たとえば、事業所の建物を避難所としてお借りしたり、駐車場を一時避難場所として利用させてもらうなど、こうしたことは地域としても主体的に取り組めるのではないかという意見もあった。また、市ないし協働で取り組むこととして、地域包括支援センターや民生委員等で有している情報を横の繋がりでも共有する方法を検討していきたい。最後に「情報共有・連携」だが、基本的な情報については、自治会員・非自治会員や若年層・高齢者層を問わず知っておかなければならないと考える。中央地区では、数年前に地区単位の防災ガイドを作成したが情報が古くなっている面もあるため更新しなければいけないし、それ以前に作成していること自体を知らない人も多い。今後、地域としても、地区の最新の情報をこうしたガイドに落とし込んだりして、地域に情報共有すべきという意見があった。

〈結果〉

- ・まちづくりを考える懇談会のテーマは「地域防災」の1テーマとなった。
- ・今回グループワークで提起された意見や課題を基に、役員会でテーマシートを作成後、書面で全委員に諮ることとなった。そのテーマシートについて意見や修正がある場合は、10月21日（金）までに事務局に意見を提出してもらうこととなった。

## (2) 中央地区の課題に対する取り組みについて

上記、まちづくりを考える懇談会に係るグループワーク内で、必要に応じて各チームの個別課題についても話し合いが行われ、「公園プロジェクトチーム」から報告がされた。

(公園プロジェクトチーム)

○9月24日（土）午後1時00分から「第2回富士見小の校庭で遊ぼう」が開催される。まちづくり会議委員のみなさまには是非ともご協力をお願いしたい。

⇒○何時までに行けばよいのか。

⇒○協力いただければ都合のつく時間から大丈夫。実行委員会は11時半から準備に行き、受け付け開始は12時半から行う予定でいる。

## 3 その他

### (1) まちづくり会議会則の一部改正について

事務局から資料に沿って、まちづくり会議会則を一部（下記2カ所）改正することについて説明・提案した。

#### 【会則の改正内容】

- ① 別表1（第4条関係）の「中央高齢者支援センター」を「中央地域包括支援センター」に名称変更すること。
- ② 別表1（第4条関係）に「中央地区主任児童委員」を追加すること。

〈主な意見・質疑〉

特になし。

〈結果〉

提案のとおり承認された。

### (2) 光が丘周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会における中央地区まちづくり会議からの推薦について

事務局から資料に沿って、表記の件について、まちづくり会議として下記の4名を推薦したことについて報告した。

No.	主な所属	名前
1	中央地区まちづくり会議	鈴木 泰信
2	中央公民館	岡本 和茂
3	弥栄自治会	田坂 正子
4	民生委員・児童委員協議会主任児童委員	藤井 絵美

〈主な意見・質疑〉

特になし。

(3) 11月のまちづくり会議の日程変更について

「中央地区っていいなあフェア」開催（11/19～11/25）の関係で、当初11月24日（木）開催を予定していた第4回中央地区まちづくり会議は、11月17日（木）に変更となったことを報告した。

4 閉会

岡本副会長より、閉会のあいさつをした。

令和4年度 中央地区まちづくり会議委員名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	鈴木 泰信	中央地区自治会連合会	会 長	出席
2	館脇 智幸	中央地区自治会連合会		出席
3	鳥海 千秋	中央地区社会福祉協議会	副会長	出席
4	八木 憲哉	中央地区民生委員児童委員協議会		欠席
5	熊沢 憲一	中央地区老人クラブ連合会		欠席
6	岡野 博	中央地区青少年健全育成協議会		出席
7	松田 正則	中央地区健康づくり普及員協議会		出席
8	東使 敏二	中央地区防犯協会		出席
9	増田 勝也	交通安全協会		出席
10	武田 守弘	中央地区連合自主防災隊		出席
11	松本 勇作	中央小学校 PTA		出席
12	石神 仁	弥栄小学校 PTA		出席
13	佐藤 匠	富士見小学校 PTA		出席
14	岡本 和茂	中央公民館	副会長	出席
15	浦上 裕史	中央地区内商店街		出席
16	澤畔 正裕	中央地域包括支援センター		出席
17	倉澤 良明	公募委員		出席
18	小澤 隆宏	公募委員		出席
19	中里 良治	公募委員		出席